

産地直送便



発行(農)山形おきたま産直センター
山形県南陽市漆山 1068
TEL 0238 (47) 7338
<http://www.okitama.net>
2017.6.1 発行 責任者 島崎栄一

田 植 え

青年部 野口 博人

田植えの準備も進み、そろそろ田植えの時期が近づいてきました！

私は昨年からは農業を始めたばかりの新規就農者なので2年目の田植えになります(^^)

田植えまでには様々な準備が必要で、やるべき事がたくさんあります。

3月下旬から種籾の準備を始め、【温湯処理】された種もみを水につけて膨らませていきます。(浸種)

4月中旬に【播種】を行い、その後苗を並べて【プール育苗】にて苗を育てていきます。苗の管理と並行して、今度は田んぼでの作業が始まります。



4月下旬から田んぼに肥料を撒いて、【田起こし】していきます。有機栽培の田んぼでは田起こししていると鳥たちがたくさん集まってきて、田起こし作業も楽しいものです。それが終わると水路の水を田んぼにいれ【代掻き】をしていきます。



なかなかこの作業が難しい!!(>_<)

田んぼを平らにするのに一苦労です(>_<)

その作業が終わるとようやく【田植え】です。

今年も美味しいお米を作るために、手間を惜しまず、何より皆さんに安心して美味しく食べてもらえるようにこころを込めて作っています!!

デラウエア



～ジベ処理(ジベレリン=植物ホルモン)～

現在5月の下旬ですが、デラウエアの1回目のジベ処理を行っています。デラウエアは、2回ジベ処理を行います。1回目は種を無くすため、2回目は果実肥大のためです。より気を付けなければいけないのは1回目のほうで、時期が早いと、房が長くなって粒が着かなくなり、遅れると房が短くなり粒が密着しすぎて、その後の摘粒作業が大変になります。また、処理前後の天候でジベレリンの吸収され方も変わってきます。乾燥し過ぎていると、十分に吸収される前にジベが乾いてしまい、種有りの粒が混じることもあります。栽培上重要なポイントの1つだと思います。

果樹部会 部会長 近野肇

